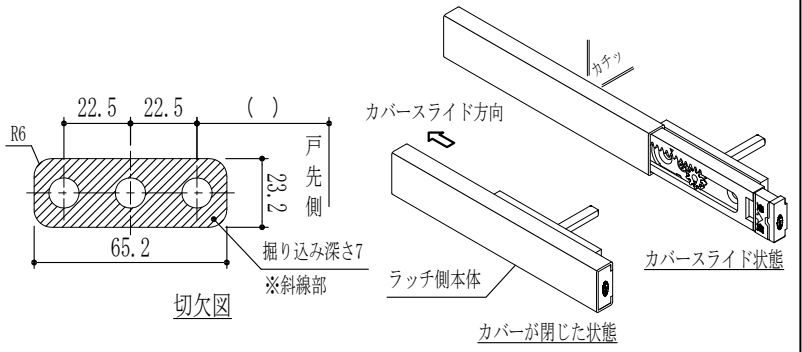


取付方法

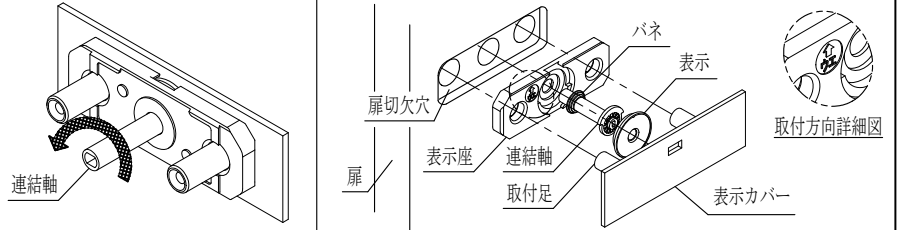
1. 切欠図に従って扉を掘り込み、穴(φ10)を3箇所開けて下さい。
※()内寸法は、現場取付位置により設定して下さい。
※扉の掘り込みは、表示側のみ加工を行って下さい。

ラッチ側本体のカバーを矢印の方向にロックするまでスライドさせて下さい。
(ロックの際「カチッ」と音が鳴りスライドが止まります)
カバーが閉じた状態の製品については、下記「取付後の外し方」を参照しロックを外しカバーを開放して下さい。



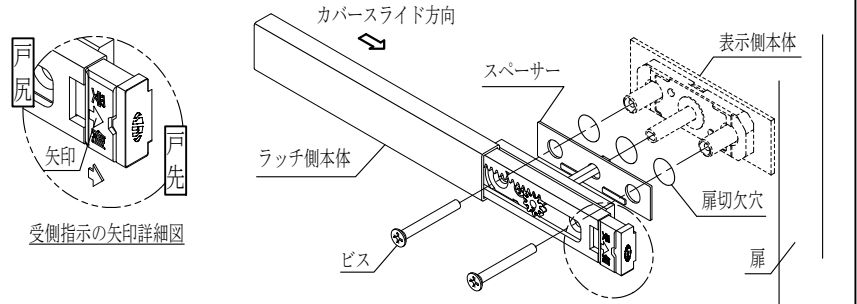
2. 表示側本体の軸を反時計回りに止るまで回し表示を淡水色にします。
表示側本体の取付足及び連結軸を扉切欠穴に挿入して下さい。

⚠ 開梱時に各部品がバラけない様に注意して下さい。
部品がバラけてしまった場合は、右図を参考に組立て直し、取り付けて下さい。



3. ラッチ側本体を右図のように扉切欠穴に挿入しビスをドライバーで締めこんで下さい。
その際、受側指示の矢印が戸先に向いているのを確認して下さい。
カバーを右図に示すカバースライド方向の矢印方向にスライドさせ、ロックして下さい。
最後にラッチ側本体を動かして、表示が連動しているかを確認してください。

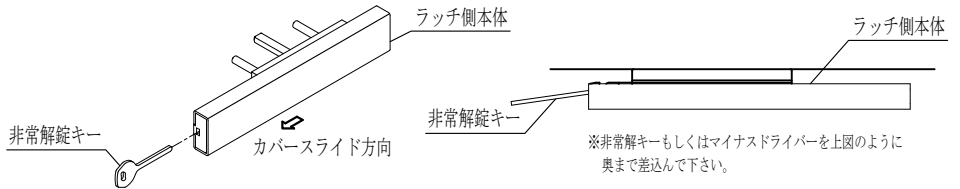
⚠ 本製品の取付に、電動ドライバーは使用しないで下さい。



取付後の外し方

非常解錠キーまたは細いマイナスドライバーをラッチ側本体 戸尻側の穴に差し込み、カバーを戸尻方向にスライドさせて下さい。

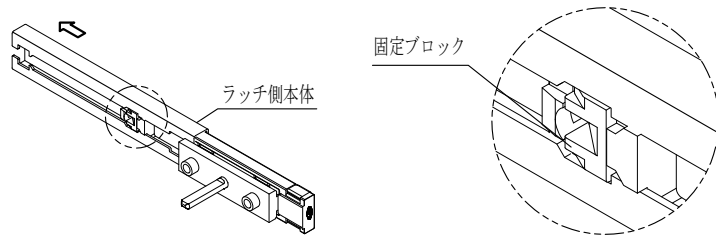
⚠ 非常解錠機能が無い製品には、非常解錠キーが付属されていませんのでご了承下さい。



※非常解錠キーもしくはマイナスドライバーを上図のように奥まで差し込んで下さい。

⚠ 注意

カバースライド状態で裏面の固定ブロックを押さないで下さい。
固定ブロックを押した状態で矢印の方向にスライドさせるとカバーが外れ製品が分解する恐れがあります。



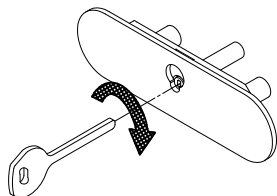
施工後は、非常解錠キーと共に本紙を施主様にお渡し下さい

非常時のスライドラッチ取扱い方法

※非常解錠機能が無い製品は、対象外です。

非常解の方法

非常解錠キーを図のように表示器中央の穴に挿入し、左右どちらの開き方向でも時計回りにキーを回して下さい。



ラッチが解錠方向に作動し、受(エッジ)から外れ、扉を開放することが出来ます。

